

年度	科目名	教員氏名	単位数	授業のねらいと到達目標(DPと当該授業科目との関連)
2023	子ども家庭福祉	平林 智之	2	子ども家庭福祉では、現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷を踏まえて、子ども家庭福祉の理念および法制度や実施体系を理解するとともに、「子どもの最善の利益」「子どもの人権擁護」についての知識を習得し、洞察する力・課題解決の能力(課題解決能力:DP③)を養うことを目指す。価値観が多様化する現代において、「子どもの最善の利益」「子どもの人権擁護」を軸に、総合的な子ども理解(保育を実践できる力:DP②)を基本に、子どもや家庭を支援し、地域社会における役割を果たすことができるよう使命感(保育者としての「使命感」:DP①)を培い、「子ども家庭福祉」の理論と実際を学ぶ。 【児童相談所・児童福祉施設等での実務経験を有する教員が、その経験を活かして、現場での子どもの権利擁護や子ども家庭福祉の実践的な対応を考察できるよう指導する。】
2023	文章表現法	反町 京子	2	すべての学力や生活の基礎となる言葉の力を身に付けることは、現在も将来にとっても非常に大切なことである。その言葉の力を確実にし、今後社会でより一層活躍できるようになるための言語活用力としての文章表現法を身に付けることを目指す。本学のDP①「保育者としての使命感を身につけている」を達成するためのCP③「コミュニケーションや課題解決の能力を身に付けること」を到達目標とする。具体的には、言葉に関することや文章表現方法などの基本的な事柄を正確に理解し、さらにそれらを適切に活用しながら目的に応じた言語活動を通して学ぶ。 【国語科教育の実務経験を有する教員が、その経験を生かして、言語に関する基礎的な知識や運用能力の向上を目指した指導をする】
2023	子ども家庭支援の心理学	大野 雄子	2	保育者にとって、子どもへの支援のみならず保護者に対する支援は必要不可欠である。この科目は、発達段階と家族システム、親としての養育スタイルや多様な子育て環境を学び、保育者としての使命感(社会的責任・自己管理)を培い、(コミュニケーションスキル)、(チームワーク)や、(課題解決力)を身につけられるようにする。 1.生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題について理解する。 2.家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその過程を包括的に捉える視点を習得する。 3.子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 4.子どもの精神保健とその課題について理解する。 【幼稚園教諭やスクールカウンセラー等の臨床の実務経験がある教員が、その経験を活かし、子どもをめぐる子育て環境や精神保健等について指導する。】

年度	科目名	教員氏名	単位数	授業のねらいと到達目標(DPと当該授業科目との関連)
2023	子どもの保健	三宅 美千代	2	子どもの保健は、子どもの日常生活を実践の場とし、子どもの健康の維持・増進を目的としている。常に成長・発達する子どもの健康の維持・増進につとめられるよう、身体的・社会的・精神的側面から子どもの特徴や発育の過程、健康状態の把握の方法を理解するとともに、子どもに特有な症状や疾病とその予防法や対応の仕方について理解し、保育者としての使命感を身につける。また、現代の複雑多様な社会背景や環境の中で子どもを守る保育者の在り方を考え、健やかな子どもの育ちを支え、保育施設の子どものみならず、地域の子どもの保育支援アドバイザーとしての自覚を持ち、多職種間の連携・協働のもとで適切なコミュニケーションを取りながら、より良い社会に貢献できる保育者となることを目指す。 【看護師・保育士の資格を持つ教員が、実務経験と知識・技術を生かして指導する。】
2023	子どもと音楽 基礎	二見 美千代、 股木 裕美子、 岡崎 裕美	2	保育現場において、弾き歌いを始めとする様々な音楽活動を円滑に行う実践力を養うことを目標とする。子どもの音楽性を育むことへの高い志を持ち(社会的責任)、ピアノや打楽器などを使い、子どもが「遊び」を通した主体的な音楽活動をするための援助に必要な、音楽基礎知識力、ソルフェージュ力を養う(保育実技)。さらに生き生きと歌う歌唱力及び幼児曲におけるピアノ伴奏の実践力の習得を目指す。また、アンサンブル活動を通して音楽の楽しみ方を学び、他者との良好な人間関係を築くことを目標とする(コミュニケーションスキル・チームワーク)。【音楽基礎知識やソルフェージュ教育・ピアノ実技教育の実務経験を有する教員が、その経験を活かして、子どもに対する音楽活動に関する指導を行う。】
2023	子どもと音楽 I	股木 裕美子	1	子どもの成長に対して誠実に向き合う使命感を持ち、保育現場での音楽活動や遊びを通じて子ども達の感動する心や他者を思いやる心を育て、子ども達とともに成長していくことができる保育者の育成を目指す。幼児の感性や想像力を豊かにするための音楽基礎技能として、保育の現場に於いて、子ども達と一緒に歌を歌うためのピアノの「弾き歌い」を修得する。またお互いの演奏を聴き合う事で、子ども達に伝わる表現について、課題を解決する能力を養い、一緒に楽しむためのコミュニケーションスキルを育成する。 【音楽楽典指導、ピアノ実技指導、音楽表現での実務経験を有する教員により、その経験を活かして指導を行う。】

年度	科目名	教員氏名	単位数	授業のねらいと到達目標(DPと当該授業科目との関連)
2023	子どもと音楽Ⅱ	股木 裕美子	1	音楽活動を通じて子どもの心身の健やかな成長を支える使命感を持ち、子どもとともに生涯成長していくことができる保育者を目指す。日々の生活や遊び、季節の行事等の音楽活動を行うための、保育の実践力を身につける。保育の教育現場で活用度の高い童謡、生活の歌、行事の歌を中心に、生き生きと「弾き歌い」をするために必要な知識や技術を実践的に習得し、保育の現場で臨機応変に対応できる力を養う。更に連弾やお互いの演奏を聴き合う中で、コミュニケーションスキルを育成する。 【音楽楽典指導、ピアノ実技指導、音楽表現での実務経験を有する教員により、その経験を活かして指導を行う。】
2023	教育実習Ⅱ	齋藤 めぐみ	1	幼稚園実習指導Ⅱの授業では、幼稚園教育要領に示されている幼児期の終わりまでに育みたい10の姿に向かい、幼児期に育みたい資質、能力を理解した上で、前半は、2年次3週間の本実習に備えて具体的実践方法を学び、後半は実習からの学びを整理し、保育者になるための自己課題の発見と具体的な解決策を考え学ぶことをねらいとする。講義で学ぶだけでなく、学生が主体的に考え、体験しながら使命感(社会的責任)を備えた教育者・保育者育成を目指す。 本学DPに沿った具体的な到達目標は以下の通りである。 事前指導では、幼児にとっての「遊び」の重要性、「遊び」を通して保育が行われることを理解した上で、幼児の発達に合わせた1日責任実習実践のための指導案の作成を主体的に考え完成させること、その際、グループ内でお互いにアドバイスをし合い、より優れた指導案作成すること、また一人一人が毎日、実習のねらいをもち、考察することの重要性を知り、それをふまえた実習記録の書き方を学び身につけること、保育者になるという使命感をもち実習に臨む準備ができること、事後指導では実習の振り返り、エピソード研究を行い、保育者となるまでの今後の課題を明確にし、課題解決に向けての具体的方法を考察すること、また、学んだことを大勢の前でプレゼンテーションできる力を身につけること、である。【幼稚園教諭としての実務経験を有する教員が、その経験を活かして、指導案作成や実習記録の方法、プレゼンテーションの方法など実践的活動を指導する。】

年度	科目名	教員氏名	単位数	授業のねらいと到達目標(DPと当該授業科目との関連)
2023	教育実習Ⅲ	齋藤 めぐみ	4	幼稚園における3週間の実習。幼稚園教育要領に示されている幼児期の終わりまでに育みたい10の姿に向かい、幼児期に育みたい資質・能力をふまえ、領域「健康」のねらい、内容を理解し、その具体的実践方法を講義で学ぶだけでなく、学生が主体的に考え、実習を通して体験しながら学び、身につけることを目指す。本学DPに沿った具体的な到達目標は以下の通りである。 保育者になるために必要な実習を行う意義を知り、保育者になるべく使命感を認識すること、幼児にとっての「遊び」の重要性、「遊び」を通して保育が行われることを理解した上で幼稚園において、子どもが主体的に活動するための指導案作成、子どもを援助する方法を実践しながら学ぶこと、である。 加えて幼稚園教育全般についての理解をいっそう深め、教職に対する意志ならびに保育者としての資質・能力・適性を確認し保育者を目指す使命感(社会的責任)を確立する。【幼稚園教諭としての実務経験を有する教員が、その経験を活かして、実習中の実践的活動を指導する。】
2023	特別支援教育	藤川 志つ子	2	(DPと当該授業科目との関連) 保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)として、特に以下点についての習得を目指す 1.障害児保育の理念や歴史的な変遷について学び、障害のある子どもの保育について理解する 2.様々な障害特性について理解し、個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について学ぶ 3.障害を持つ子どもやその他の特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について学ぶ 4.障害を持つ子どもやその他の特別な配慮を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働について理解する 5.障害を持つ子どもやその他の特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解する特に、本学のDP①【保育者としての使命感を身につける:子どもを育むことの価値を理解し、人間形成の基礎を培うことの責任を実感したうえで、子ども一人一人を敬愛し、常に向上しようとする意識を身につけている】を達成し、保育者としてインクルーシブの視点をもって保育ができるようになることを目的とする。 【心理士として障害を持つ子どもへの療育や保護者支援、保育園・幼稚園の巡回相談員として関わってきた経験を反映し講義を構成している】

年度	科目名	教員氏名	単位数	授業のねらいと到達目標(DPと当該授業科目との関連)
2023	保育実習指導Ⅱ	藤川 志つ子	1	保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育に関する知識と保育実践力を習得する。保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して理解する。保育士の専門性と職業倫理について理解する。実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。子どもの発達の連続性及び教育と保育の関連性を重視し、総合的な子ども理解ができる事を到達目標とする。 保育実習の実務経験ある教員の経験を活かし、保育実習の意義・目的を理解し、“保育”を総合的に理解し保育実践ができるよう指導する。 本学DP1「保育者としての使命感」を意識して実習に取り組み、さらにDP3「社会に貢献しうるコミュニケーション力・課題解決力」を現場での学習から養う力を身に着ける素養を持つことによって、保育・支援の専門性を高めることを目指す。
2023	児童文化Ⅰ	岡崎 裕美	2	子どもが誕生して、見るもの聞くものその環境の全てが学習の対象となる乳幼児の成長の一つ一つの素材を紐解き、伝承文化(遊び・歌・絵本、他)、季節の子どもの行事・歌等を通して、子どもの心身の成長に合わせた保育の表現技術を広く学ぶ。保育に携わる者としての深い子ども理解(保育に関する知識)と使命感(社会的責任・自己管理)を備え、子どもが遊びを通して主体的に学ぶことの重要性を理解し、「遊び」を通した保育を実践できる力を身につける。また、社会に貢献し得る「コミュニケーション力・課題解決力」を身につけ、総合的な子ども理解のできる教育者・保育者の育成をめざす。【子どもの歌唱・リズムダンスの振り付け、ミュージカル・コンサート等の実務経験を有する教員が、その経験を活かして、子どもの発達に応じた表現遊びを通して、遊び方の導入と言葉かけ、遊びの展開の実技の指導法、音楽表現とその必要性を指導する。】
2023	保育内容総論	小熊 真弓	2	幼稚園教育要領、保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育の内容」の関連を理解し、専門領域と関連させた理解を深める。また、幼児の発達に即した主体的、対話的な深い学びが実現する過程をふまえ、具体的な指導場面を想定した保育を構成する方法を身につける。 保育所保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育の内容の歴史的変遷等を踏まえ、保育内容の基本的な考え方を理解する。 子育て支援を理解した多様な保育の展開について具体的に理解する。 本学のDP②「遊び」を通した保育の実践力が身につくよう、遊びを通した学びを理解して保育技術を身につけることを到達目標とする。 【保育内容について実務経験を有する教員が、その経験を活かし、幼稚園教育要領、保育所保育指針などの全体構造を理解し、子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景などをふまえ、保育内容の基本的考え方を指導する。】

年度	科目名	教員氏名	単位数	授業のねらいと到達目標(DPと当該授業科目との関連)
2023	保育原理I	小熊 真弓	2	乳幼児期の教育及び保育の意義や目的、保育に関する法令や制度を学び、保育における歴史や今日的な課題を理解して、自分の保育に関する考えをもつことをねらいとする。具体的な目標は次の通りである。 1 幼稚園教育要領、保育所保育指針などにおける保育の基本について理解する。 2 保育に関する法令及び制度を理解する。 3 保育の思想と歴史的変遷について理解する。 4 保育の現状と課題について考察する。 本学のDP②「遊び」を通した保育の実践力を身につけるため、(保育に関する知識)を有し、保育を構築する基礎的な力をつけることを到達目標とする。 【保育の実務経験がある教員が、その経験を活かし、乳幼児期の教育及び保育の意義や目的、保育の現状と課題について指導する。】
2023	リトミック	二見 美千代	2	保育現場においてリトミックの手法を用いた活動をするための、知識と技術の習得を目指す。保育者を志す者としての自覚を持ち(社会的責任)、実際に幼児におけるリトミックを体験しその内容の分析を行う。打楽器やボールなど様々な教具を使い、子どもが音楽遊びを楽しめるような援助ができる力を養う(保育実技)。また、音楽の身体表現などのグループワークを通して、多様な意見を統合してアイデアを生み出せる力を養う(課題解決力)。【リトミック教育の実務経験を有する教員が、その経験を活かして、リトミック指導の手法や子どもの年齢に応じた対応を指導する】
2023	乳児保育I	加藤 智子	2	乳児保育では、3歳未満児の発達の特徴を踏まえた総合的な子どもの理解(保育に関する知識)を基礎とし、人間形成の上で大切な乳幼児期の育ちに関わる保育者として、子どもに寄り添い、ともに成長しようとする使命感(社会的責任・自己管理・生涯学習)をもって、以下の4点について学ぶ。 1. 乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割等(保育に関する知識)について理解する。 2. 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題(保育に関する知識)について理解する。 3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容と運営体制(保育に関する知識)について理解する。 4. 乳児保育における職員間の連携(コミュニケーションスキル・チームワーク)・協働及び保護者や地域の関係機関との連携(課題解決力)について理解する。 【公立保育所においてクラス担任、主任保育士、所長としての勤務経験を有する実務家教員が、その経験を活かし3歳未満児の発育・発達の具体的な姿から発育の連続性や、一人一人を主体とした保育内容の考え方を指導する。】

年度	科目名	教員氏名	単位数	授業のねらいと到達目標(DPと当該授業科目との関連)
2023	社会的養護内容I (生活環境等)	藤崎 明	2	本授業では1. 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷、2. 子どもの人権 擁護を踏まえた社会的養護の基本、3. 社会的養護の制度や実施体系、4. 社会的養護の対象や形態、関係する専門職、5. 社会的養護の現状と課題、等について理解することを授業のねらいとする。 これにより、社会的養護の必要な子どもに対して関心が高まり、使命感(社会的責任・生涯学習)を醸成する。被虐待児、身体障害や発達障害、知的障がいなどの子どもに対する理解が深まることによって総合的な子ども理解(保育に関する知識・保育技術)ができるようになる。また、演習やグループディスカッションによってコミュニケーションや課題解決の能力(コミュニケーションスキル、チームワーク、リーダーシップ、課題解決力)を養う。【社会福祉士で障害児者の支援の実務に日頃あたっている教員が、その経験を生かして障害を持つ子どもたちへの支援の手法を指導する】
2023	社会的養護内容II (心身の障がい等)	藤崎 明	2	本授業では1保育者としての「使命感」を身につけている、2「遊び」を通した保育を実践できる力を身につけている、3社会に貢献し得る「コミュニケーション力・課題解決力」を身につけている等について理解することを授業のねらいとする。 これにより、社会的養護の必要な子どもに対して関心が高まり、使命感(社会的責任・生涯学習)を醸成する。被虐待児、身体障害や発達障害、知的障がいなどの子どもに対する理解が深まることによって総合的な子ども理解(保育に関する知識・保育技術)ができるようになる。また、演習やグループディスカッションによってコミュニケーションや課題解決の能力(コミュニケーションスキル、チームワーク、リーダーシップ、課題解決力)を養う。【社会福祉士として障害児者の相談支援の実務に日頃あたっている教員が、その経験を生かして障害を持つ子どもたちへの支援の手法を指導する】
			34	